

■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2021年5月28日から2031年5月12日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界の取引所に上場している企業の株式へ投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 グローバルGX関連株式マザーファンド 世界の取引所に上場している企業の株式
当ファンドの運用方法	■主として世界の株式の中から、環境に関する技術の進化や政策の変化に関して成長が期待できるGX（グリーン・トランスフォーメーション）関連企業の株式に投資します。 ■銘柄選定にあたっては、環境等の成長分野やアジア・新興国などの成長地域の調査・分析に強みのある、TTインターナショナル・アセットマネジメント・リミテッドからの投資助言を活用します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 グローバルGX関連株式マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年5月12日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。（基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）</div>

グローバルGX 関連株式ファンド

【愛称:The GX】 【運用報告書（全体版）】

（2022年5月13日から2023年5月12日まで）

第 **2** 期
決算日 2023年5月12日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界の取引所に上場している企業の株式へ投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 配 込 金 騰 落		株 式 組 入 率 比	投 資 信 託 証 券 組 入 率 比	純 資 産 額
		税 分	配 込 金			
(設定日) 2021年5月28日	円 10,000		円 —	% —	% —	百万円 1,979
1期(2022年5月12日)	8,392		0	△16.1	93.5	4.7 10,155
2期(2023年5月12日)	8,752		0	4.3	95.5	2.9 10,074

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 式 組 入 率 比	投 資 信 託 証 券 組 入 率 比
		騰 落	率		
(期首) 2022年5月12日	円 8,392		% —	% 93.5	% 4.7
5月末	9,432		12.4	92.9	4.3
6月末	8,859		5.6	94.1	3.0
7月末	9,771		16.4	94.7	3.0
8月末	10,011		19.3	96.7	2.9
9月末	9,113		8.6	95.9	2.7
10月末	9,640		14.9	94.9	2.9
11月末	9,560		13.9	94.8	2.9
12月末	8,733		4.1	95.3	3.0
2023年1月末	9,353		11.5	95.4	3.0
2月末	9,457		12.7	95.6	2.8
3月末	9,053		7.9	95.1	2.7
4月末	8,707		3.8	95.3	2.9
(期末) 2023年5月12日	8,752		4.3	95.5	2.9

※騰落率は期首比です。

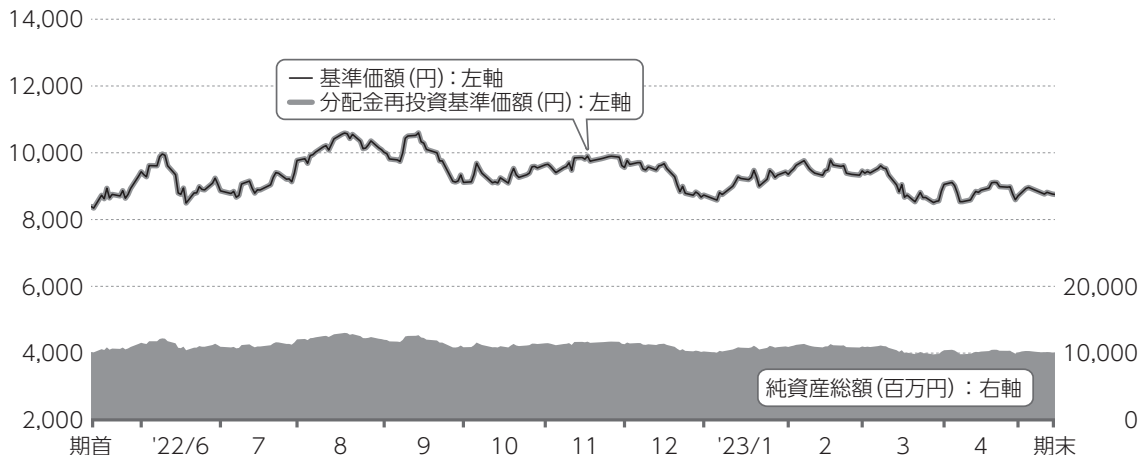
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年5月13日から2023年5月12日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	8,392円
期末	8,752円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+4.3% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2022年5月13日から2023年5月12日まで)

当ファンドでは、主としてマザーファンドへの投資を通じて、環境に関する技術の進化や政策の変化に関して成長が期待できるGX^{*}(グリーン・トランスフォーメーション)関連企業の株式に投資します。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

※GX(グリーン・トランスフォーメーション)とは

当ファンドでは、先端技術を活用して、二酸化炭素(CO₂)の排出量の増加や海洋プラスチックごみ等による環境問題を解決し、持続可能な社会を実現させることをいいます。

上昇要因

- 米国で脱炭素化社会を促進するIRA(インフレ抑制法)が成立したこと
- インフレ圧力の緩和に伴う利上げペースの鈍化が期待されたこと
- 対米ドルで円安が進んだこと

下落要因

- 欧米でインフレを抑制するために金融引き締めが行われたこと
- インフレ、金利高によって景気が減速し始めたこと

投資環境について(2022年5月13日から2023年5月12日まで)

期を通じて、世界株式市場は上昇しました。為替は対米ドルで円安が進みました。

世界株式市場

期を通じて、世界株式市場は上昇しました。

期初はインフレ懸念の高まりにより欧米にて急速な金融引き締め姿勢が示されたことが嫌気され、株式市場のバリュエーション(投資価値評価)調整によって株価は下落しました。

その後7月以降はインフレのピークアウト期待から株価は戻り基調にありましたが、8月後半以降、予想を上回る物価指標、雇用指標、FRB(米連邦準備制度理事会)によるタカ派(インフレ抑制を重視する立場)的なコメントを受けて、株価は再び下落しました。一方で、10月に入ると株価に割安感が出て

きたこと、米ドル高基調の一服、インフレ懸念の後退などから、株価は反発しました。

2023年以降は、米国での銀行破綻を発端に金融不安が広がると、欧米中心にリスク回避の動きが強まり、下落する局面もあったものの、利上げ打ち止め期待の高まりに加えて、中国の経済再開に伴う景気回復期待の高まりにより、株式市場は続伸しました。

為替市場

期初に比べて、対米ドル、対ユーロで円安が進みました。利上げ局面に入った欧米と金融緩和姿勢を維持する日本の中央銀行の姿勢の違いが、米ドル、ユーロに対しての円売り材料となりました。

ポートフォリオについて(2022年5月13日から2023年5月12日まで)

当ファンド

期を通じて「グローバルGX関連株式マザーファンド」を高位に組み入れることにより、世界の株式市場への投資を行いました。

グローバルGX関連株式マザーファンド

●株式組入比率

株式組入比率は、概ね90%以上の高位を維持しました。

●業種配分

業種配分では、GXによって業績成長が期待できる資本財・サービスや素材などの組入比率を高めとしました。

●個別銘柄

個別銘柄については、中国や東南アジアでの電動二輪車の市場拡大から業績拡大が見込まれる電動二輪車メーカーのヤディアや、主にEV(電気自動車)バッテリー製造工場向け、データセンター向けの需要拡大が見込まれる除湿・冷却システムメーカーのマンタズ・グループ、食肉加工処理時に発生する廃棄物やレストランの使用済食用油の回収・再利用を事業とし、再生可能燃料の需要拡大の恩恵が期待されるダーリン・イングリディエンツなどを長期的な成長性が高いと判断し買い入れました。

一方で、電力貯蔵用の蓄電池事業が売上・利益とも軟調であることを決算で示し、業績見通しを引き下げた発電機メーカーのジェ

ネラック・ホールディングスや、米国での銀行破綻により市場に金融不安が広がったことを受け、財務リスクが相対的に高いと判断したエネルギー効率化ソリューションを提供するアメレスコ、水素やLNG(液化天然ガス)市場向けに冷却機器などを手掛けるチャート・インダストリーズなどを売却しました。

●ポートフォリオの特性

銘柄選定において、CO₂排出量の多い自動車産業等の脱炭素化を促進する技術に着目した「脱炭素技術の進化」、化石燃料に頼らない発電技術と、発電したエネルギーを貯蔵する技術に着目した「エネルギーのクリーン化」、そして、限られた資源をより効率的に活用する技術・サービスに着目した「限られた資源の活用」の3つの投資テーマを設定し、それぞれのテーマから成長が期待できる銘柄を選別しました。

アナログ・デバイスズ／アメリカ／情報技術

投資テーマ：限られた資源の活用

半導体製造大手。高成長が期待されるEV（電気自動車）やインダストリアル向けにアナログ半導体を製造。同社の半導体が様々な分野で、顧客のエネルギーの効率的な使用に貢献しており、「限られた資源の活用」のテーマに合致する。

アナログ半導体はエネルギーの効率化において大きな役割を果たしており、同社製品はEV、インダストリアル向けに限らず様々な分野での需要が見込まれることから、今後も高い売上成長と、安定した利益率が見込まれる。

組入上位銘柄

インフィニオンテクノロジーズ／ドイツ／情報技術

投資テーマ：脱炭素技術の進化

半導体製造大手。高成長が期待されるEV、再生可能エネルギー業界を含む幅広い分野に向けてアナログ半導体を製造。特にEV向けの売上割合が多く、EV市場拡大に貢献していることから「脱炭素技術の進化」のテーマに合致する。

GXによる電動化の流れから同社の売上拡大が見込まれることに加えて、エネルギー消費の効率化に貢献する次世代のSiCパワー半導体においてもリーダーシッププレイヤーであり、今後も高い売上成長と、安定した利益率が見込まれる。

ベンチマークとの差異について(2022年5月13日から2023年5月12日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2022年5月13日から2023年5月12日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第2期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	298

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き「グローバルGX関連株式マザーファンド」を高位に組み入れて運用を行います。

グローバルGX関連株式マザーファンド

当ファンドは、主として世界の株式の中から、環境に関する技術の進化や政策の変化により企業業績の成長が期待できるGX関連企業の株式に投資します。テーマ別の投資比率に関して、現時点では、「限られた資源の活用」に関連する銘柄の保有比率が最も高くなっておりますが、EVや再生可能エネルギーなど急速に市場の発展が見込まれることから、「脱炭素技術の進化」および「エネルギーのクリーン化」のテーマに関連する銘柄も、投資環境を考慮しながら追加の組入れを検討します。

個別銘柄の選択について、米国での銀行破綻を受けた金融不安の継続、企業の借入環境の悪化を考慮し、経済・金融環境が悪化する中でも、安定したキャッシュフロー成長が期待でき、財務安全性の高い銘柄を中心に投資

を行って参ります。一方で、景気減速・金融不安により利上げは最終局面に入っており、今後バリュエーション調整の終了に伴い、水素関連銘柄などの高成長銘柄にも株価の反発の機会があると考えており、徐々にそれらの銘柄の組入比率も引き上げていく方針です。

今年の後半からは、世界景気の底打ちから企業業績の再拡大を織り込む形で株式市場も上昇基調を取り戻すことが期待されますが、その際は、世界各国のGXを推進する政策の後押しを受けるGX関連株が「業績相場」のけん引役として再び注目されると思います。

当ファンドは、引き続き、長期的に高成長が見込まれるGX関連銘柄の中でも、「質の高い」銘柄に厳選投資を行います。具体的には、以下の3点を重視します：

1. 「GX分野における、売上げやキャッシュフロー成長の確実度が高いこと」
2. 「将来において、マーケットリーダーとしての地位を確立できると考えられること」
3. 「既に大手企業とパートナーシップを持つなど、実績・知名度があること」

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

1万口当たりの費用明細 (2022年5月13日から2023年5月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	148円	1.584%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は9,344円です。
(投信会社)	(72)	(0.770)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(72)	(0.770)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.044)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.069	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(6)	(0.068)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	1	0.007	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(1)	(0.007)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.029	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.017)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.005)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	158	1.689	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

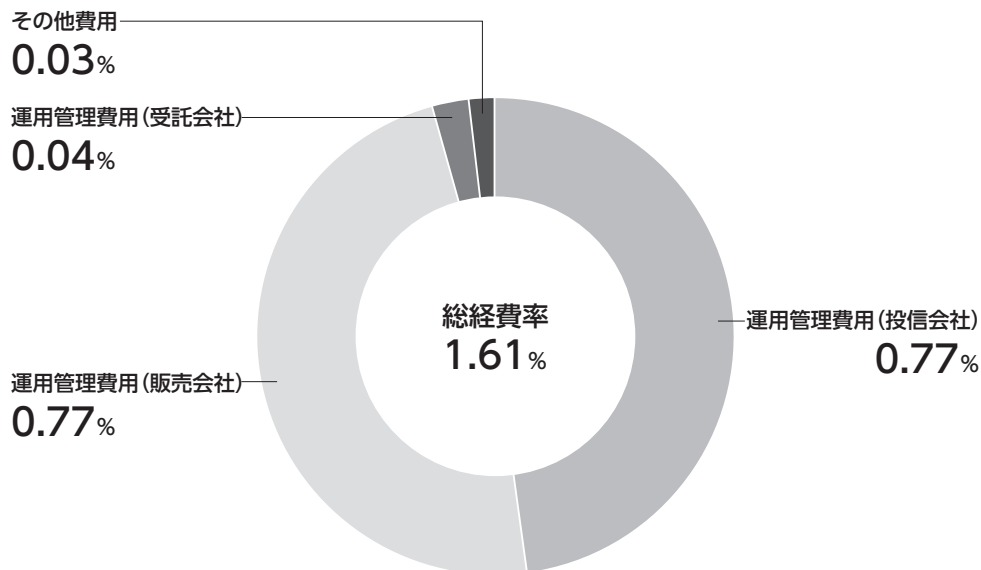
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.61%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2022年5月13日から2023年5月12日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
グローバルG X 関連株式マザーファンド	605,709	565,170	1,368,953	1,349,336

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年5月13日から2023年5月12日まで)

項 目	当 期	
	グローバルG X 関連株式マザーファンド	
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	5,848,516千円	
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	10,524,665千円	
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.55	

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年5月13日から2023年5月12日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2022年5月13日から2023年5月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2023年5月12日現在)

親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
グローバルG X 関連株式マザーファンド	千口 12,010,373	千口 11,247,129	千円 10,159,532

※グローバルG X 関連株式マザーファンドの期末の受益権総口数は11,247,129,427口です。

■ 投資信託財産の構成

(2023年5月12日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
グローバルG X 関連株式マザーファンド	千円 10,159,532	% 99.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	17,095	0.2
投 資 信 託 財 産 総 額	10,176,627	100.0

※グローバルG X 関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産 (9,583,693千円) の投資信託財産総額 (10,175,141千円) に対する比率は94.2%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=134.63円、1香港・ドル=17.17円、1スイス・フラン=150.58円、1スウェーデン・クローナ=13.03円、1オフショア・人民元=19.339円、1ユーロ=146.96円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年5月12日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	10,176,627,950円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,365,617
グローバルGX関連株式マザーファンド(評価額)	10,159,532,011
未 収 入 金	15,730,322
(B) 負 債	101,661,894
未 払 解 約 金	17,045,377
未 払 信 託 報 酬	84,265,498
そ の 他 未 払 費 用	351,019
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	10,074,966,056
元 本	11,511,795,652
次 期 繰 越 損 益 金	△ 1,436,829,596
(D) 受 益 権 総 口 数	11,511,795,652口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	8,752円

※当期における期首元本額12,101,921,687円、期中追加設定元本額1,102,183,799円、期中一部解約元本額1,692,309,834円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2022年5月13日 至2023年5月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 2,022円
受 取 利 息	165
支 払 利 息	△ 2,187
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	498,290,727
売 買 益	703,599,736
売 買 損	△ 205,309,009
(C) 信 託 報 酬 等	△ 176,716,103
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	321,572,602
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 2,032,085,702
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	273,683,504
(配 当 等 相 当 額)	(5,071,839)
(売 買 損 益 相 当 額)	(268,611,665)
(G) 合 計 (D + E + F)	△ 1,436,829,596
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△ 1,436,829,596
追 加 信 託 差 損 益 金	273,683,504
(配 当 等 相 当 額)	(6,021,105)
(売 買 損 益 相 当 額)	(267,662,399)
分 配 準 備 積 立 金	70,014,427
繰 越 損 益 金	△ 1,780,527,527

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	70,014,427円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	273,683,504
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	343,697,931
1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	298.56
(f) 分配金	0
1 万 口 当 た り 分 配 金	0

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

グローバルGX関連株式マザーファンド

第2期 (2022年5月13日から2023年5月12日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2021年5月28日)
運用方針	<p>■主として世界の取引所に上場している企業の株式*の中から、環境に関する技術の進化や政策の変化に関して成長が期待できる企業の株式に投資します。</p> <p>※不動産投資信託 (REIT)、DR (預託証券) 等を含みます。</p> <p>■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p> <p>■株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p>

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株式組入比率	投資証券信託比率	純資産総額
		騰	落			
(設定日) 2021年5月28日	円 10,000		% -	% -	% -	百万円 1,979
1期(2022年5月12日)	8,524		△14.8	92.7	4.6	10,237
2期(2023年5月12日)	9,033		6.0	94.7	2.9	10,159

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株式組入比率	投資証券信託比率
		騰	落		
(期首) 2022年5月12日	円 8,524		% -	% 92.7	% 4.6
5月末	9,588		12.5	92.8	4.3
6月末	9,018		5.8	93.9	3.0
7月末	9,956		16.8	94.4	3.0
8月末	10,215		19.8	96.2	2.9
9月末	9,316		9.3	95.3	2.7
10月末	9,864		15.7	94.2	2.9
11月末	9,794		14.9	94.7	2.9
12月末	8,960		5.1	95.1	3.0
2023年1月末	9,607		12.7	95.0	3.0
2月末	9,726		14.1	95.2	2.8
3月末	9,325		9.4	94.5	2.7
4月末	8,982		5.4	94.6	2.9
(期末) 2023年5月12日	9,033		6.0	94.7	2.9

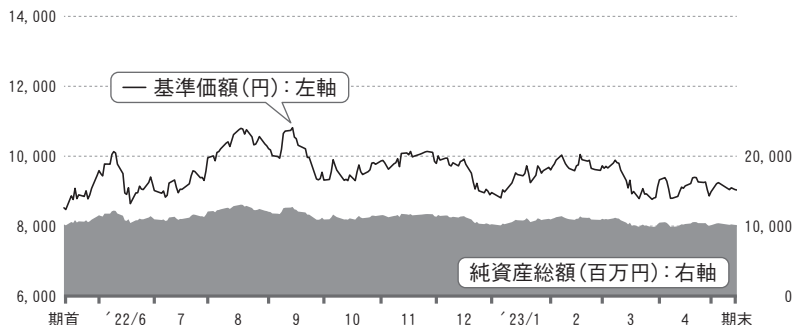
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2022年5月13日から2023年5月12日まで）

基準価額等の推移



期首	8,524円
期末	9,033円
騰落率	+6.0%

▶ 基準価額の変動要因（2022年5月13日から2023年5月12日まで）

当ファンドでは、主として環境に関する技術の進化や政策の変化に関して成長が期待できるGX（グリーン・トランスフォーメーション）関連企業の株式に投資します。外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- ・米国で脱炭素化社会を促進するIRA（インフレ抑制法）が成立したこと
- ・インフレ圧力の緩和に伴う利上げペースの鈍化が期待されたこと
- ・対米ドルで円安が進んだこと

下落要因

- ・欧米でインフレを抑制するために金融引き締めが行われたこと
- ・インフレ、金利高によって景気が減速し始めたこと

▶ 投資環境について（2022年5月13日から2023年5月12日まで）

期を通じて、世界株式市場は上昇しました。為替は対米ドルで円安が進みました。

世界株式市場

期を通じて、世界株式市場は上昇しました。

期初はインフレ懸念の高まりにより欧米にて急速な金融引き締め姿勢が示されたことが嫌気され、株式市場のバリュエーション（投資価値評価）調整によって株価は下落しました。

その後7月以降はインフレのピークアウト期待から株価は戻り基調にありましたが、8月後半以降、予想を上回る物価指標、雇用指標、FRB（米連邦準備制度理事会）によるタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的なコメントを受けて、株価は再び下落しました。一方で、10月に入ると株価に割安感が出てきたこと、米ドル高基調の一服、インフレ懸念の後退などから、株価は反発しました。

2023年以降は、米国での銀行破綻を発端に金融不安が広がると、欧米中心にリスク回避の動きが強まり、下落する局面もあったものの、利上げ打ち止め期待の高まりに加えて、中国の経済再開に伴う景気回復期待の高まりにより、株式市場は続伸しました。

為替市場

期初に比べて、対米ドル、対ユーロで円安が進みました。利上げ局面に入った欧米と金融緩和姿勢を維持する日本の中央銀行の姿勢の違いが、米ドル、ユーロに対しての円売り材料となりました。

▶ ポートフォリオについて（2022年5月13日から2023年5月12日まで）

株式組入比率

株式組入比率は、概ね90%以上の高位を維持しました。

業種配分

業種配分では、GXによって業績成長が期待できる資本財・サービスや素材などの組入比率を高めとしました。

個別銘柄

個別銘柄については、中国や東南アジアでの電動二輪車の市場拡大から業績拡大が見込まれる電動二輪車メーカーのヤディアや、主にEV（電気自動車）バッテリー製造工場向け、データセンター向けの需要拡大が見込まれる除湿・冷却システムメーカーのマンタズ・グループ、食肉加工処理時に発生する廃棄物やレストランの使用済食用油の回収・再利用を事業とし、再生可能燃料の需要拡大の恩恵が期待されるダーリン・イングリディエンツなどを長期的な成長性が高いと判断し買入れました。

一方で、電力貯蔵用の蓄電池事業が売上・利益とも軟調であることを決算で示し、業績見通しを引き下げた発電機メーカーのジェネラック・ホールディングスや、米国での銀行破綻により市場に金融不安が広がったことを受け、財務リスクが相対的に高いと判断したエネルギー効率化ソリューションを提供するアメレスコ、水素やLNG（液化天然ガス）市場向けに冷却機器などを手掛けるチャート・インダストリーズなどを売却しました。

ポートフォリオの特性

銘柄選定において、CO₂排出量の多い自動車産業等の脱炭素化を促進する技術に着目した「脱炭素技術の進化」、化石燃料に頼らない発電技術と、発電したエネルギーを貯蔵する技術に着目した「エネルギーのクリーン化」、そして、限られた資源をより効率的に活用する技術・サービスに着目した「限られた資源の活用」の3つの投資テーマを設定し、それぞれのテーマから成長が期待できる銘柄を選別しました。

アナログ・デバイス／アメリカ／情報技術

投資テーマ：限られた資源の活用

半導体製造大手。高成長が期待されるEV（電気自動車）やインダストリアル向けにアナログ半導体を製造。同社の半導体が様々な分野で、顧客のエネルギーの効率的な使用に貢献しており、「限られた資源の活用」のテーマに合致する。

アナログ半導体はエネルギーの効率化において大きな役割を果たしており、同社製品はEV、インダストリアル向けに限らず様々な分野での需要が見込まれることから、今後も高い売上成長と、安定した利益率が見込まれる。

組入上位銘柄

インフィニオンテクノロジーズ／ドイツ／情報技術

投資テーマ：脱炭素技術の進化

半導体製造大手。高成長が期待されるEV、再生可能エネルギー業界を含む幅広い分野に向けてアナログ半導体を製造。特にEV向けの売上割合が多く、EV市場拡大に貢献していることから「脱炭素技術の進化」のテーマに合致する。

GXによる電動化の流れから同社の売上拡大が見込まれることに加えて、エネルギー消費の効率化に貢献する次世代のSiCパワー半導体においてもリーディングプレイヤーであり、今後も高い売上成長と、安定した利益率が見込まれる。

▶ ベンチマークとの差異について（2022年5月13日から2023年5月12日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

当ファンドは、主として世界の株式の中から、環境に関する技術の進化や政策の変化により企業業績の成長が期待できるGX関連企業の株式に投資します。テーマ別の投資比率に関して、現時点では、「限られた資源の活用」に関連する銘柄の保有比率が最も高くなっておりますが、EVや再生可能エネルギーなど急速に市場の発展が見込まれることから、「脱炭素技術の進化」および「エネルギーのクリーン化」のテーマに関連する銘柄も、投資環境を考慮しながら追加の組入れを検討します。

個別銘柄の選択について、米国での銀行破綻を受けた金融不安の継続、企業の借入環境の悪化を考慮し、経済・金融環境が悪化する中でも、安定したキャッシュフロー成長が期待でき、財務安全性の高い銘柄を中心に投資を行って参ります。一方で、景気減速・金融不安により利上げは最終局面に入っており、今後バリュエーション調整の終了に伴い、水素関連銘柄などの高成長銘柄にも株価の反発の機会があると考えており、徐々にそれらの銘柄の組入比率も引き上げていく方針です。

今年の後半からは、世界景気の底打ちから企業業績の再拡大を織り込む形で株式市場も上昇基調を取り戻すことが期待されますが、その際は、世界各国のGXを推進する政策の後押しを受けるGX関連株が「業績相場」のけん引役として再び注目されると考えます。

当ファンドは、引き続き、長期的に高成長が見込まれるGX関連銘柄の中でも、「質の高い」銘柄に厳選投資を行います。具体的には、以下の3点を重視します：

1. 「GX分野における、売上げやキャッシュフロー成長の確実度が高いこと」
2. 「将来において、マーケットリーダーとしての地位を確立できると考えられること」
3. 「既に大手企業とパートナーシップを持つなど、実績・知名度があること」

グローバルG X 関連株式マザーファンド

■ 1万口当たりの費用明細 (2022年5月13日から2023年5月12日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	7円 (6) (0)	0.069% (0.068) (0.001)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	1 (1) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.022 (0.017) (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送入金・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	9	0.098	

期中の平均基準価額は9,563円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2022年5月13日から2023年5月12日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上 場	千株 14.7	千円 339,433	千株 36	千円 245,211
	ア メ リ カ	百株 757.53	千アメリカ・ドル 6,265	百株 2,689.08	千アメリカ・ドル 15,253
外 国	香 港	8,940	千香港・ドル 11,523	—	千香港・ドル —
	イ ギ リ ス	—	千イギリス・ポンド —	6,610.14	千イギリス・ポンド 757
	ス イ ス	35.49	千スイス・フラン 898	—	千スイス・フラン —
	ス ウ ェ ー デ ン	382.27	千スウェーデン・クローナ 4,031	—	千スウェーデン・クローナ —
国 際	中 国	2,580.6 (653.6)	千オフショア・人民元 33,214 (—)	—	千オフショア・人民元 —
	ユ ー ロ	—	千ユーロ —	64.72	千ユーロ 883
	オ ラ ン ダ	— (△ 146.48)	— (△ 2,087)		

グローバルGX関連株式マザーファンド

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	フ ラ ン ス	62.63 (20.94)	927 (-)	-	-
	ド イ ツ	710.71	1,914	444.46	893
	ス ペ イ ン	-	-	456.79	813
	フ ィ ン ラ ン ド	-	-	553.6	2,503
	そ の 他	- (146.48)	- (2,087)	-	-

※金額は受渡し代金。

※（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外 国	ア メ リ カ	WEYERHAEUSER CO	口 -	千アメリカ・ドル -	口 23,422	千アメリカ・ドル 773

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年5月13日から2023年5月12日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	5,848,516千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	10,524,665千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.55

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年5月13日から2023年5月12日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2022年5月13日から2023年5月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

グローバルGX関連株式マザーファンド

■ 組入れ資産の明細 (2023年5月12日現在)

(1) 国内株式

銘柄	株数	金額	期首(前期末)		期末	
			株数	金額	株数	金額
機械 (100.0%) ダイキン工業 電気機器 (-) ニデック			千株	千円	千株	千円
			—	—	14.7	375,658
			36	—	—	—
合計	株数・金額		36		14.7	375,658
	銘柄数<比率>		1銘柄		1銘柄	<3.7%>

※銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 外国株式

銘柄	株数	金額	期首(前期末)		期末		業種等
			株数	金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円			
DEERE & CO	117.14	42.87	1,598	215,159	資本財		
NEXTERA ENERGY INC	483.89	376.2	2,862	385,429	公益事業		
GENERAC HOLDINGS INC	51.41	—	—	—	資本財		
PLUG POWER INC	1,236.8	1,236.8	946	127,380	資本財		
ENPHASE ENERGY INC	286.53	221.75	3,565	480,025	半導体・半導体製造装置		
DARLING INGREDIENTS INC	—	331.42	2,094	281,992	食品・飲料・タバコ		
SHOALS TECHNOLOGIES GROUP -A	939.23	939.23	2,149	289,440	資本財		
CHARGEPOINT HOLDINGS INC	1,513.34	1,513.34	1,298	174,809	資本財		
BLOOM ENERGY CORP- A	2,220.44	1,402.75	1,855	249,851	資本財		
RANPAK HOLDINGS CORP	689.21	—	—	—	素材		
AMERESCO INC-CL A	388.19	—	—	—	資本財		
MP MATERIALS CORP	406.93	602.79	1,309	176,265	素材		
CHART INDUSTRIES INC	116.26	—	—	—	資本財		
TREX COMPANY INC	169.77	169.77	986	132,771	資本財		
TETRA TECH INC	310.44	310.44	4,564	614,505	商業・専門サービス		
ANALOG DEVICES INC	223.88	329.4	5,948	800,864	半導体・半導体製造装置		
CROWN HOLDINGS INC	391.92	137.07	1,143	153,922	素材		
GXO LOGISTICS INC	214.82	214.82	1,172	157,823	運輸		
TRANE TECHNOLOGIES PLC	171.55	171.55	3,033	408,425	資本財		
小計	株数・金額	9,931.75	8,000.2	34,529	4,648,667		
	銘柄数<比率>	18銘柄	15銘柄	—	<45.8%>		
(香港)			千香港・ドル				
YADEA GROUP HOLDINGS LTD	—	8,940	15,269	262,177	自動車・自動車部品		
小計	株数・金額	—	8,940	15,269	262,177		
	銘柄数<比率>	—	1銘柄	—	<2.6%>		

グローバルGX関連株式マザーファンド

銘柄	株数	期首(前期末)		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス) ITM POWER PLC	6,610.14	—	—	—	—	資本財
小計	株数・金額 6,610.14	—	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	—	<—%>	
(スイス) SIKA AG-REG	100.3	135.79	3,405	512,817	—	素材
小計	株数・金額 100.3	135.79	3,405	512,817	—	
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	—	<5.0%>	
(スウェーデン) MUNTERS GROUP AB	—	382.27	4,369	56,932	—	資本財
小計	株数・金額 —	382.27	4,369	56,932	—	
	銘柄数<比率>	—	1銘柄	—	<0.6%>	
(中国) CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A SUNGROW POWER SUPPLY CO LT-A	418 — 893	1,470.6 1,931.6 1,143	35,353 6,519 12,698	683,703 126,075 245,583	—	資本財 半導体・半導体製造装置 資本財
小計	株数・金額 1,311	4,545.2	54,571	1,055,361	—	
	銘柄数<比率>	2銘柄	3銘柄	—	<10.4%>	
(ユーロ…アイルランド) KINGSPAN GROUP PLC	328.64	328.64	2,044	300,503	—	資本財
小計	株数・金額 328.64	328.64	2,044	300,503	—	
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	—	<3.0%>	
(ユーロ…オランダ) KONINKLIJKE DSM NV	211.2	—	—	—	—	素材
小計	株数・金額 211.2	—	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	—	<—%>	
(ユーロ…ルクセンブルグ) BEFESA SA	550.8	550.8	2,140	314,554	—	商業・専門サービス
小計	株数・金額 550.8	550.8	2,140	314,554	—	
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	—	<3.1%>	
(ユーロ…フランス) AIR LIQUIDE SA SCHNEIDER ELECTRIC SE	209.46 175.5	230.4 238.13	3,749 3,741	550,963 549,850	—	素材 資本財
小計	株数・金額 384.96	468.53	7,490	1,100,813	—	
	銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄	—	<10.8%>	
(ユーロ…ドイツ) INFINEON TECHNOLOGIES AG HELLOFRESH SE	806.01 444.46	1,516.72 —	5,031 —	739,461 —	—	半導体・半導体製造装置 生活必需品流通・小売り
小計	株数・金額 1,250.47	1,516.72	5,031	739,461	—	
	銘柄数<比率>	2銘柄	1銘柄	—	<7.3%>	

グローバルGX関連株式マザーファンド

銘柄	株数	期首(前期末)		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…スペイン) SIEMENS GAMESA RENEWABLE ENE	456.79	—	—	—	—	資本財
小計	株数・金額 456.79	—	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	—	<—%>	
(ユーロ…フィンランド) NESTE OYJ	553.6	—	—	—	—	エネルギー
小計	株数・金額 553.6	—	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	—	<—%>	
(ユーロ…その他) DSM-FIRMENICH AG	—	146.48	1,725	253,584	—	素材
小計	株数・金額 —	146.48	1,725	253,584	—	
	銘柄数<比率>	—	1銘柄	—	<2.5%>	
ユーロ通貨計	株数・金額 3,736.46	3,011.17	18,433	2,708,917	—	
	銘柄数<比率>	9銘柄	6銘柄	—	<26.7%>	
合計	株数・金額 21,689.65	25,014.63	—	9,244,874	—	
	銘柄数<比率>	31銘柄	27銘柄	—	<91.0%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

(3) 外国投資信託証券

銘柄	口数	期首(前期末)		期末		組入比率
		口数	口数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) WEYERHAEUSER CO	96,779	73,357	千アメリカ・ドル 2,182	千円 293,812	2.9%	
小計	口数・金額 96,779	73,357	2,182	293,812		
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	—	<2.9%>	
合計	口数・金額 96,779	73,357	—	293,812		
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	—	<2.9%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

グローバルG X 関連株式マザーファンド

■ 投資信託財産の構成

(2023年5月12日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 9,620,532	94.5 %
投 資 証 券	293,812	2.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	260,795	2.6
投 資 信 託 財 産 総 額	10,175,141	100.0

※期末における外貨建資産（9,583,693千円）の投資信託財産総額（10,175,141千円）に対する比率は94.2%です。
 ※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、
 1 アメリカ・ドル=134.63円、1 香港・ドル=17.17円、1 スイス・フラン=150.58円、1 スウェーデン・クローナ=13.03円、1 オフショア・人民元=19.339円、1 ユーロ=146.96円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年5月12日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	10,175,141,311円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	247,268,682
株 式 (評 価 額)	9,620,532,741
投 資 証 券 (評 価 額)	293,812,574
未 収 配 当 金	13,527,314
(B) 負 債	15,730,995
未 払 解 約 金	15,730,322
そ の 他 未 払 費 用	673
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	10,159,410,316
元 本	11,247,129,427
次 期 繰 越 損 益 金	△ 1,087,719,111
(D) 受 益 権 総 口 数	11,247,129,427口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9,033円

※当期における期首元本額12,010,373,753円、期中追加設定元本額605,709,538円、期中一部解約元本額1,368,953,864円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は、グローバルG X 関連株式マザーファンド11,247,129,427円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2022年5月13日 至2023年5月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	113,506,441円
受 取 配 当 金	113,015,374
受 取 利 息	554,688
そ の 他 収 益 金	15,760
支 払 利 息	△ 79,381
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	595,318,088
売 買 益	2,027,905,943
売 買 損	△1,432,587,855
(C) そ の 他 費 用 等	△ 2,495,985
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	706,328,544
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△1,773,126,263
(F) 解 約 差 損 益 金	19,617,433
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 40,538,825
(H) 合 計 (D + E + F + G)	△1,087,719,111
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	△1,087,719,111

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価格から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。